

【3月号特集「モーショントロール，計測・センサ応用全般」予告】

高度センサ応用による人間中心システムの協同研究委員会委員長 満倉 靖恵

モーショントロール，計測・センサ応用に関する技術は，計測制御分野，メカトロニクス分野，信号処理およびその応用分野において極めて重要な要素になっています。日々進化するこれらの技術の動向を知り得ることは，今後の技術を支えていく技術者にとって大変意義深いものがあります。高度センサ応用による人間中心システムの協同研究委員会とモーショントロールの先進応用に関する協同委員会では，毎年3月に産業計測制御研究会を合同で開催し，モーショントロール，計測・センサ応用の最新かつ実用性の高い技術について討議を行う場を設けています。本研究会は年々規模が大きくなり，昨年度3月の研究会（平成22年3月8日および9日，東京農工大にて開催）では，発表件数150件以上という過去最大規模になり，質の高い研究発表とともに，技術者同士の活発な討論が行われました。このような背景のもと，モーショントロール，計測・センサ応用全般に関する論文をできる限り共有するために平成23年3月号で「モーショントロール，計測・センサ応用全般」を企画いたしました。

本特集号では平成22年3月に開催されました産業計測制御研究会での口頭発表をベースに，研究会における質疑内容やコメントなどを参考に投稿され査読を経た論文を特集論文としてまとめて掲載致します。なお，本特集号の企画は今後も継続することにしておりますので，産業計測制御研究会でのご発表と発表された内容を論文にされることをぜひご検討いただき，奮ってご投稿くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

梅のつぼみがほころぶ季節となり，春の訪れを待ち遠しく感じております。

さて，今月号は，平成23年部門表彰受賞候補者の推薦依頼，および9月に沖縄で開催される産業応用部門大会の案内を掲載しています。部門大会に併せて子供ものづくり教室も開かれます。皆様奮ってご応募およびご参加下さい。

国際会議レポートでは，ICEMS2010について北見工業大学の田村淳二先生に，技術開発レポートでは，制御回路を用いない風力発電装置の開発について東洋電機製造株式会社の丸山一樹様にご執筆いただきました。風力エネルギーは，再生可能エネルギーのひとつであり，地球環境の保全，エネルギーセキュリティの確保，経済成長の維持を同時に実現可能なエネルギー源として期待されております。風力発電装置が世界中に普及すると，我々の生活はどのように変わのでしょうか。将来が楽しみです。

研究グループ紹介では，三重大学大学院 平井淳之先生，駒田諭先生，弓場井一裕先生の電機システム研究室を紹介しています。先進モーショントロール理論の確立と実証，人間環境に適応するロボットの研究，そして人間の生活支援や介護予防につながる技術開発について，ご執筆いただきました。

また，3月号特集「モーショントロール，計測・センサ応用全般」の予告を掲載しています。本特集号は，平成22年3月に開催されました産業計測制御研究会での口頭発表をベースに特集論文として掲載する予定です。

最後になりましたが，ご多忙中にもかかわらず今月号のために記事をご執筆いただいた皆様，ならびに編集作業に携わっていただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 寺園 勝志（株式会社 安川電機）

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には，“(at)”を“@”に置き換えて下さい。